



校長室だより 足立区立第九中学校

第 118 号 令和元年 10 月 15 日発行 長塚 琢磨



【10月に贈る詩②】後期始業式

自分に厳しく、日々努力し、辛いことを乗り越え成長していく九中生に次の詩を贈ります。

※ 私が大切にしている言葉を
生徒の皆さんに知ってほしいと思います。

高き山に登れば

さらに遠き高きものが見える

(街中で見かけた言葉)

涙を流しながら 一片のパンを

かじったことのない者に

人生を語る資格はない

(街中で見かけた言葉)

習慣は第二の天性である

アウグスティヌス

(十七世紀の哲学者)

自分に打ち勝つことが

最も偉大な勝利である

プラトン

(古代ギリシャの哲学者)

【感動の文化祭をつくる！大成功の予感！】

今日から後期スタート、自分で納得のいく後期にしてほしい。

私は、10月11日の前期終業式で、4月からの全生徒の立派な成長を褒めるとともに、「君たちには真っ直ぐで素敵な心と無限の可能性がある」「あと3日で後期がスタートするが、今後の目標や達成の方法を確認し、本気・全力で取り組んでほしい」と話しました。バスケットボールの神様と言われたマイケルジョーダンの言葉「積極的・攻撃的にひたすら努力する」も伝えました。

さて、10月25日は「文化祭」です。今年も、文化委員会が中心となり、生徒で決定したスローガン「見つけよう 溢れる個性 ~One for all All for one~」のもと、生徒たちは成功を目指して放課後も頑張っています。

日頃の学習や活動の成果、短期間で各学年が団結して創り上げていく舞台発表など、個性溢れる様々な発表を期待しています。本気で取り組み、自分や仲間の無限の可能性を引き出すことがスローガンから感じます。まさに「九中魂」ですね。

朝練習や放課後の活動等でご家庭に協力いただくこともありますが、よろしく願いいたします。



放課後：3年生のコーナー



【九中に避難約 500 人！ 台風 19 号が残したモノ！】

はじめに、台風 19 号の被害にあわれ、命を落とした方のご冥福を心よりお祈りします。健康面だけでなく、家や畑など様々な被害があり大変悲しく残念に思うとともに、自然の脅威を感じました。

第九中学校は、10月12日から13日にかけて、緊急避難所として開放しましたが、約500人の方の利用がありました。13日の午前6時50分には、全ての方が怪我や病気等もなくお帰りになりました。

台風19号は、様々な被害とともに、私たちに学ぶことを残してくれたと考えています。それは、命が最も大切であること、そして自分自身で守る（自助）とともに、近隣の人たちが協力して命を守り、よりよい生活につなげていく（共助）必要があることです。

ご家庭におきましても、備え等を確認するなどご指導をよろしくお願いいたします。



翌日の朝：片付け

【結果は後からついてくる！ 毎日の努力！】

10月11日（金）の終業式後に、新人戦等の表彰を行いました。私は、全校生徒の前に並んでいる生徒たちの顔を見て、賞状を代読し、賞状や盾等を生徒に手渡すことの喜びを感じました。それと同時に、夏休みの暑い時期に頑張って練習していた生徒たちの姿を思い出し、努力の結果がこのような形になったのだと考えました。また、全ての生徒たちが、知識や技能レベルが確実に上がっていること、人間的に成長していることに誇りをもってほしいと考えました。ご家庭でも努力の尊さや成長を見て、励ましてあげてください。私は、生徒たちのさらなる進化に期待しています。



【10月29日は、コシヒカリ給食！】

第1学年の生徒が、5月に魚沼自然教室で泥んこになって植えた苗が実り、この秋に収穫されました。冷たい水、たくさんのアメンボ、足を取られて転んだことなど思い出し、自然の恵みに感謝して食べたいと思います。きっと、みんなの愛情や汗でとってもおいしいコシヒカリご飯が食べられると思います。いただきま〜す。



給食コーナー：Q & A

【おまけ】

※ 文化祭まであと十日になった今、私がドキドキしたこの詩を贈ります。

演奏

谷川 俊太郎

そのピアノから薫が匂う
そのピアノがタイプライターになる
そのピアノには河が流れ
そのピアノは噴火する
そのピアノは白い大きなホールにある
そしてその大きなホールは
そのピアノの中にある
そのピアノに人が生まれる
そのピアノに人が死ぬ
そのピアノは空を飛び
そのピアノから星雲が構成される
そして
そのピアノは最後に静かな遺書をのこした
僕は二人の仲間と共に拍手をし
その拍手の精気を紙に記した